

「北陸学総論」ガイダンス資料(2008.10.1 および 10.8)

(1) 受講対象

金沢大学、福井大学：1～3年生限定、富山大学：2，3年生限定
受講者数上限は3大学ともに50名（受講希望者が多数の場合は抽選）

(2) 「北陸学総論」授業担当者

- ・西山宣昭（金沢大学大学教育開発・支援センター）「ガイダンス」
- ・門井直哉（福井大学教育地域科学部）「<北陸>の成り立ち」
- ・古畑徹（金沢大学文学部）「北陸と環日本海諸地域の交流史—渤海国・昆布を題材に—」
- ・木村亮（福井大学教育地域科学部）「北陸・長繊維織物産業集積の成立と発展
—輸出向け羽二重を中心に—」
- ・越野格（福井大学教育地域科学部）「福井の文学—山川登美子の短歌」
- ・山本博文（福井大学教育地域科学部）「北陸の地形と活断層」
- ・中村浩二（金沢大学環日本海域環境研究センター）「北陸の里山：重要性，現状，問題点」
- ・田崎和江（金沢大学理学部）「北陸のゆったり湯学」
- ・塚脇真二（金沢大学環日本海域環境研究センター）「北陸の海と陸—日本海と
日本アルプスのはざままで—」
- ・横畑泰志（富山大学理学部）「モグラもいれば、クマも出る・・・北陸の哺乳類」
- ・松井隆幸（富山大学経済学部）「現代北陸の繊維産業—非衣料、自動車から建築まで—」

(3) 担当日および担当者

- 10月1日 西山（ガイダンス、金沢大学でのみ開講）
- 10月8日 門井（授業冒頭5分西山から富山、福井の受講生向けガイダンス）
- 10月15日 古畑
- 10月22日 古畑
- 10月29日 越野
- 11月5日 田崎
- 11月12日 田崎
- 11月19日 横畑
- 11月26日 横畑（授業冒頭5分西山から前半部レポートについてアナウンス）
- 12月3日 山本
- 12月10日 木村
- 12月17日 松井
- 1月7日 中村
- 1月14日 塚脇
- 1月21日 塚脇（授業冒頭5分西山から後半部レポートについてアナウンス）

(4) 毎週の授業終了後のミニッツペーパーの提出（入力）について

金沢大学の受講生は、授業終了後、授業で重要と思ったこと、疑問に思ったこと、授業の感想について200字以上で記述し、アカンサスポータルで「北陸学総論」にアクセスし、会議室に学籍番号、氏名を明記の上、入力すること。

福井大学、富山大学の受講生は、当面、配布されたミニッツペーパーに授業終了後に教室内で記述し、TAに提出すること。なお、金沢大学のアカンサスポータルにアクセスして金沢大学の受講生と同様に入力することを予定しているが、その開始時期については別途アナウンスする。

(5) レポート課題について

レポート課題および提出方法、提出締切については、前半部レポートについては11月26日、後半部レポートについては1月21日に授業冒頭に西山からアナウンスする。前半部の担当教員（門井、古畑、越野、田崎、横畑）から1題ずつ課題が出されるので、その中から1題を選択する。後半部についても同様に、担当教員（山本、木村、松井、中村、塚脇）から出された課題から1題を選択する。

(6) 出席確認について

授業開始直前に教室に設置されているカードリーダーに学生証を通すこと。出席が自動記録される。したがって、毎回の授業に際して学生証を必携すること。学生証を忘れた場合、あるいはカードリーダーで読み取りが出来なかった場合は、授業後(18:05-18:15)までに必ず、西山（金沢大学）および担当ティーチングアシスタント（福井大学、富山大学）に届けること。届けなかった場合は、欠席とする。

なお、10月8日、10月15日の授業ではカードリーダーが作動していないので、この2回の出席確認は、ミニッツペーパーの入力または提出の有無をもって行う。

(7) 成績評価について

出席状況および毎回の授業終了後のミニッツペーパー提出（入力） 20%
前半部（10月8日～11月26日）レポート 40%
後半部（12月3日～1月21日）レポート 40%

*受講生数調整のための抽選においては、アカンサスカードおよび受講票を提出した者から50名に絞った上で、出席カードを記入、提出させ、両者を照合する。両者が揃っていない場合は、受講許可を取り消す。（後日学務係に依頼して掲示する。）

以上